

拝啓 オオサンショウウオ様

～その後いかがお過ごしですか？～

研究第二部 主事 和田 明美

研究第一部 主事 小林 千夏

あれは確か平成2年9月の事でした。兵庫県養父町を北流する流域面積71.6平方キロ、幹線流路延長14.8キロ、流域の九割以上が山地という一級河川、建屋川は台風と秋雨前線による大雨のため氾濫し、周辺の人々は大きな被害を被ったのです。そこで翌年9月から災害復旧助成事業という名のもとに、10年に一度起こりうる規模の雨に耐えられるように川を掘ったり埋めたり固めたりして補修しようとなりました。そうしたら、まあびっくり。あなたが、掘っ



た川淵から次から次へとお出ましになったものですから、みんな大騒ぎ。だってあなたは日本の“特別天然記念物”という印籠をお持ちなのですもの。ハハア。勝手に動かすわけには参りません。さっそく文化財保護法に基づいて捕獲調査をし、あなたがた約260体にはしばしの間私たちの用意したお屋敷でお暮らしいただくこととなりました。恥ずかしがり屋さんで夜暗くなってからおでかけになるあなた。昼間ゆったりとお休みいただく為に、そしてあなたのそのヌルヌルとした肌を傷つけないようにする為にコンクリートは避けV Bパイプ製のシングル用ベッドを用意させていただきました。そしてグルメなあなたの為（実は動くものなら何でもお召し上がりになるらしいですね）に生きたアマゴやカワムツ、フナ等の魚を生き餌として献上させていただきました。そうそう、その間健康診断もさせていただきますねえ。体重や身長測定。怪我の状況や食欲の有無。それから個体の識別。これには斑紋の記録を効果的に使用いたしました。あなたは体に黒い斑紋というものをおもちで、これは人間の指紋と同じように各個体によってその大きさ、形、位置が違ふのです。それを記録して、戸籍とでも申しましょうか、識別リストを作成いたしました。これであなたの存在は兵庫県・八鹿土木事務所のデータにインプットされており、あなたを建屋川に放流した後も元気で暮らしていられるか、放流した位置か

らどのくらい移動したところにおいでか等、定期的に追跡調査をしてあなた方の生息状況を把握しようとしています。

さて、あなた方に一次避難していただいてから約2年もの月日がかかったでしょうか、私たちは建屋川をあなただけではなく他の水生生物にも心地のよいように、なおかつ私たちにとっても安全で楽しむスペースを確保できるように各所を補修・改修いたしました。例えば巨石の配置による瀬や淵の再生、石寄巣穴護岸工、枠組み護岸工、沈床巣穴工、枠組護岸工、そして爪や吸盤をもたないあなたでも上流に登ってゆけるようにスロープ付き全面多段式落差工、あなたの暮らしぶりを観察させていただくための観察用巣穴工など今流行？の多自然型工法を多く採用させていただきました。アイデアいっぱいリハウスされたお住まいでの住み心地はいかがですか？



現在の建屋川には充分にあの災害前と同じように落ち着けるリビングはありますか？静かに眠れるベッド・ルームは見つかりましたか？おいしいゴハンはお腹いっぱい食べられますか？

どうぞなにか日常生活にご不満がございましたら私達にお知らせください。私達はあなた方を、川の様子を注意深く見て行きます。だって、これから先地球の環境がどう変わって行くのか、私たち人類に何が起こるのかよくわからないけれど私たちはどの種も欠けることなくずっとみないっしょに共に生きて行きたいのですから。 敬具

追伸：八鹿土木事務所で見せていただきました。

あなたの耳はどこにあるのですか？